

活動名：平成26年度 FCAIlez 宮崎遠征

日程：平成27年3月26日（木）～3月28日（土）

場所：宮崎県宮崎市～日南市

参加：T5・T6・Gクラス 14名

帯同：設楽・小松コーチ

報告：小松コーチ

もうないだろうと思っていた総合型スポーツクラブ交流半九レインボースポーツクラブ宮崎遠征が今回また開催することが出来ました。

今回は私達 VivaKids スポーツクラブ代表の設楽コーチが半九レインボースポーツクラブさんから東日本大震災の貴重な体験と職場でもある福島県あづま総合運動公園が避難所となりその運営実績をお話しして欲しい講演依頼があり、実現したまたとない機会の遠征です。

それでは、行程と感想をお伝えしたいと思います。

まずは、郡山駅に朝の5時50分集合です。

朝の早さから遅刻者がいたら新幹線～飛行機どうなるかな？かななんて考えていましたがそんな心配はどこ吹く風いつもの笑顔で時間通りの集合でした。

ここから6時12分始発の新幹線に乗り込み一路東京駅を目指しました。

新幹線内では朝食のマクドナルドを食べましたが前日の夜10時購入のため硬くなってしまい不平が出る一幕もありました。

朝食のセッティングの難しさは本当に考えなくてはなりません。

選手の皆さんすみません。

新幹線では選手は思い思いに座り旅の楽しさをはやくも満喫です。



朝のラッシュアワーの厳しい7時44分に東京駅に到着しました。

ここから動く歩道、長いエレベーターを全員で1列になって乗り切り山手線で浜松町駅へ移動しました。

時にははぐれながら時にはまとまりながら全員でよくこの激しいラッシュアワーを乗り切りました。

よく頑張りました。やはりこの人の多さは東京と言う圧倒されるものがありま

した。



浜松町駅からはモノレールです。

なんだかんだ言っても東京山手線以上の混み具合がモノレールにはありました。

このモノレール、見た目以上に乗り心地が悪くひどく揺られました。

途中からは東京の景色が楽しむことができスカイツリーは一眼でわかるフォルムです。

空港に近づくにつれ飛行機が何台も目の前に姿を現し男の子はあまりの大きさに何人も眼を丸くしていました。羽田空港第2駅に到着です。



設楽コーチを中心にターミナルで搭乗続き荷物を預けます。金属探知ゲートではある選手が松葉杖の話に係員と話しているのがみよ〜に印象的でした。



何人かの選手は係員のチェックに合っていましたが大惨事になることもなくこれもいい経験です。

ターミナルをへて搭乗、9時40分出発テイクオフです。

機内では各自好きなお飲み物を頂き御満悦でした。

何人かは既に何回か飛行機を経験していて今の選手は

つくづく幸せだなあとつくづく感じました。

11時30分宮崎空港到着、半九レインボーの澤山さんをはじめとするスタッフの方々のお出迎えに会いました。

よくよく考えてみると澤山さんは毎回お会いする顔見知りです。

遠い地で顔見知りに出会う嬉しさと言ったら宮崎の不安さも吹っ飛ぶほどでした。



それでは、移動も終わりいよいよ宮崎満喫時間の始まりです。

まず始まりは青島観光です。

痛いほどの日差しに恵まれひとつの線になりどこまでものびる青い海、まだ田舎では感じられない初夏的な浜風そして子供達が大好きな優しい波とそこは私達が持っているフクシマの海とは似ても似つかない南国の世界でした。

この素晴らしい青島でのお弁当ランチです。

もちろんお弁当は宮崎名産の肉巻きおにぎりにチキン南蛮、そして日向夏などとても子供には食べきれないほどのお弁当でした。

余談ではありますがここでもしっかりマイウー!! □小松胃袋から宮崎を堪能させてもらいました。^_^

宮崎オソルベシ! この味覚



食後は青島散策、ここ青島はご存知の通り名門読売ジャイアンツがシーズン前毎年優勝祈願に訪れる場所でもあります。

さすがの選手達も久しぶりの海の解放感に浸り伊勢エビを発見したり綺麗な貝殻を探したり水生生物カニなどを取ったり何時間でも居たい遊べる場所でした。お参りでも椰子の木が生い茂り暑い国のアジアンティストが散りばめられ本当に日本かな？なんて不思議な場所でした。



捲りに捲ってその後バス移動

海ときたら…そうですね今度は山です。

清武ホースパークで乗馬体験です。

このパークは半九レインボーさんとの提携によって運営しており、自然豊かな宮崎の山々のちょっとした谷を利用した野趣溢れる場所にありました。



ここでは各選手馬に跨り敷地内を 2 周男子は白馬の王子様？女子はお姫様？と変身出来たかはお想像にお任せします。

そして馬に餌やり体験。

手に人参を持って直接くちもとに運んであげるという貴重な体験もしました。

もっともっとと欲張りな馬がいたり穏やかな馬がいたり馬達も性格がそれぞれです。

この馬の中には私達フクシマから避難している馬もいると伺い災害の影響がこんなところにも出ていると言うことを考えさせられました。

しかしもう直ぐ新しいオーナーに見つかるようだと聞きホッとひと安心です。

その後山々を散策、散策と言うかさながらトムソーヤの冒険のようです。食べられる野草をくちにし、ヤモリを取り、サワガニ取り、清水を飲み、自生したハッサクまで取り、久しぶりの大自然にどっぷり浸かりました。



やっぱり選手達の健全な笑顔の輝きは本当に眩しかったです。

それからホテルへ移動

ホテルではコーチ陣とは別行動、食事にお風呂、カリキュラムまでキッチリこなしてくれました。

お風呂ではホテルの外湯大浴場など満喫、カリキュラムでは震災作文など当時の生々しい気持ちが観て取れました。

私と設楽コーチは講演会。

会場にはもと市議員や県の総合型担当者、総合型アドバイザーなど 100 名弱のお客様が入り半九レインボー澤山さんのお話や設楽コーチのお話に耳を傾けて頂きました。

特に設楽コーチの講演は当時の七転八倒の避難場所から全国的に注目された施

設になってしまった経緯まで…それはひとことでは表現出来ない困難があり、その言葉には聞く人を圧倒してしまう災害のおそろしさとこわさがありました。その後の質疑応答では若い方からお歳を召した方まで震災に突きつけられた課題に立ち向かう言葉が飛び交いました。時間などあつと言う間に過ぎてしまいその後スタッフとの飲みにケーションをはかりホテルへ帰って来ました。

2日目は朝7時にホテルバイキング朝食、やはり最近の選手は朝は食べませんね…。



それでも選手なりに美味しい朝食をくちに運んでいました。みんなで食べるとはこんなにも楽しく美味しいことなのですね。昨夜でホテル宿泊は終わりになり今日はコテージ泊のため荷物移動を伴い朝食後は時間に追われバタバタと準備です。

今日は朝からモアイ像見学、このモアイ、皆さんご存知イースター島です。移動途中宮崎海岸線を満喫。宮崎海岸線と言えば、鬼の洗濯岩??? 青島一体からこちらの海岸線まで自然のちからで岩が波打ちさながら洗濯板状態。それがずっと宮崎海岸線を包み込み独特な磯場を作り出しています。宮崎と言えど1番に据えるぐらいの見応えがありました。





その海を一望できる1画にモアイ像がある公園があります。

それでは何故？宮崎にモアイ像がある公園が？

そこには、村おこしと地球の平和、イースター島の長老会の暖かい想いがありました。

話せばユネスコ世界遺産なども出てきて素晴らしい文化交流賜物の施設です。

是非とも興味がある方はお調べしてみてください。

ここで一旦澤山さんとはお別れして他のスタッフの方々が公園内をサポートしてくれました。





澤山さんはシーカヤックの準備を先に先回りしてくれるそうで準備が出来しました
いまたこちらに合流の段取りです。

こんな暖かい想いの方々に第2回遠征を開催出来ました。

もちろん1回目から想いは頂きましたが人として震災で何かしら苦しんでいる
と言う気持ちがあればこそです。

ありがたい気持ちでいっぱいです。

園内は本家イースター島長老会公認の寸分違わぬモアイが7体。

1体ごとに仕事運健康運〜と意味があるようで選手は何に群がったかは秘密し
たいと思います。

それに九州初の昆虫展、園内各所にあるオブジェ!?□など私達のフクシマとはまた
違った文化がありました。

結果的にモアイとくればベストショットタイム皆様の眼を楽しませる写真から
もしかしたら本当にイースター島?と言うレベルの写真まで見られると思いま
す。



余談ですが設楽コーチは仕事として参加、私はチーム帯同として参加しており決して笑いやウケを狙ってなどと不純な行為はこれっぽっちもありません。もし、もしも写真を見て笑いが起こるようであれば是非とも設楽コーチに苦情を言ってくださればと思います。間違っても私は仕込みとしてやらされているだけであり何の罪もありません…。ツイッターを楽しんで頂けたでしょうか？^-^

続きましてはいよいよこの遠征の目玉企画にしてこれぞ宮崎半九レインボースポーツクラブと言わしめる南郷町栄町ビーチにてシーカヤックです。

このイベントは前回も大好評を頂いた第2段、更にパワーアップして開催して頂きました。

ここには地元テレビ局も取材に来ており福島デビューより先に宮崎デビューを果たしてしまいました。

まずは全員で濡れてもいい格好を整えライフジャケット装着、そしてカヤックを浜辺へ移動、1人1本パドルを持ちカヤックの動力源であるパドリングの練習です。



思いのほかパドリングも難なくこなして練習後は2人乗り、1人乗りカヤックに搭乗して目指すは約100メートル先の沖島*^o^)/*

さてさて処女航海はいかに?! 頭では理解しているもののなかなかどうしてカヤックは思うように動かず転覆とはいきませんが逆を向いてしまったり決して



流れが強い訳ではありませんが漕いでも流されたりと珍航海となるカヤックがありました。



もちろん私と設楽コーチも 1 人用カヤックに乗船しましたがあの面白さやワクワク感はこれぞ宮崎と唸る楽しさがありました。

全員が練習航海として沖島に着いたところでおにぎりランチ、それに選手の大好物の「鶏から」までもてなしてくれました。



それこそ震災前の太平洋などでの海水浴的な雰囲気の中でのランチ - ^ ^ 大自然を全身全霊かけて遊び倒した当時のガキ大将的な気持ちが身体中を駆け巡り久しぶりのアウトドアに身も心も踊りっぱなしです。

その後

澤山さんを先頭にカヤックが列なり洞窟からの関門抜け、そして外洋デビューと海の男になるチャンスです。



まだまだ拙いパドルさばきながらスタッフのサポートを受けメキメキと船長らしくなっていました。

今でも目の裏には外洋デビューしたあの興奮が忘れられません。

そしてまさかの外洋でカヤック横並びドッキングしての記念撮影*汗(^o^)/*これぞ一生涯の写真となりました。

途中観覧船にカヤックから声をかけるなど大胆な行為もできましたそれに答えて頂ける素晴らしい外洋大冒険となりました。

関門ではカヤック船同士の衝突。

パッと見ると海にまで仲の良さを見せつける行為か？と思いましたがどう見ても操縦不能と言わざるおえない場面、結果的にスタッフが一生懸命フォローしてくれました。

そして透明度の高い海の中ではクラゲ、魚発見と～これでもかと日頃体験出来ないことが体験出来ました。

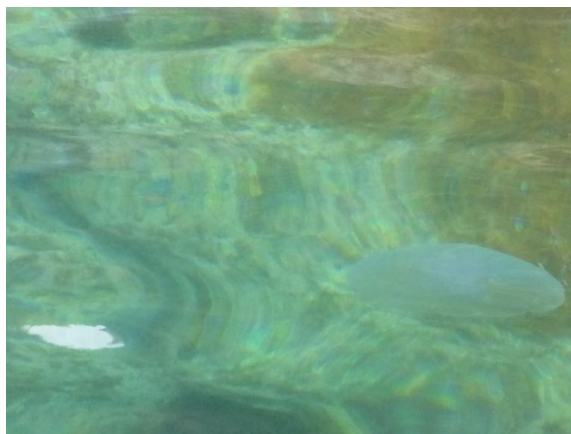
潮の流れもありますなかなかフクシマでは出来ないことですね。

その周回コースを終え沖島に帰還下船。下船とくればもうジッとしてられません。何人かの選手は海にアタック、キ

ャツキョツ、キョツキョツと歓声をあげて海へダイブ。ダイブ、ダイブ。これでもかのダイブ。

ガールズも全員海水に浸かりました。

ここでも、やっぱり子供はこうでないと!!□と思う笑顔を振りまいてくれました。私自身選手のこんな笑顔合宿でも見たことなく宮崎の太陽に負けないぐらいの笑顔でした。



その後、選手全員私と設楽コーチも入ってのカヤック競争（^▽^）
抜きつ抜かれつのシーソーゲーム、コース間違えあり、もちろん座礁？ありと
楽しいカヤックでした。

名残り惜しみながら沖島を後にして片付け、着替えをしました。

セッティングから片付けまで1連を考えるとカヤックの重さや砂流し〜バスへの
搬入など遊び以上にかなりハードワークで私と設楽コーチもお手伝いはしま
したが本当にもてなす気持ちがないと出来ない遊びと言うことが疲労に比例し
てわかりました。

ここまでして頂きありがたい限りの宮崎アウトドアです。



その後北郷町蜂之巣公園コテージに移動してここが本日最終日のお宿です。

前回も宿泊させて頂きましたがこのコテージ、温泉が引かれており公園内は
桜満喫となんとも贅沢なコテージです。

そんな1番大きいコテージ丸々1棟を貸し切りスタッフ、選手全員でバーベキュー、
宿泊するようになります。

現地夜ごはん担当スタッフに挨拶を済まして各部屋へ。

部屋は4人1組のベッドになっています。

それが終わり全員で夕飯準備

お夕飯はなんと（≧▽≦）アウトドアと言えば締め括りはバーベキューとカレー
ライスでしょう。

食べ放題的メニューですが最後まで美味しさ、楽しさ追求です。

スタッフと一緒にコンロや机椅子など準備、そしてライフジャケット干しとい
ろいろ作業は手伝わなくてはスポーツクラブ遠征ではありません。選手全員で
お手伝いです。

そうこうしている間に日も暮れ出しよいよバーベキュータイム。

タンにセセリにカルビ、そしてメインのカレーライスにキュウリにトマト、それから特性タレに生野菜、もちろん生野菜にも宮崎ドレッシングそれにスティック野菜、何かから食べようか迷ってしまいますね。

思いのほかキュウリがたくさん売れましたがなんと言ってもカレーライスはお腹にたまるのか頬張りながらスプーンを進めていました。

決してお肉が、人気ない訳ではありませんが太くて大きいキュウリだけはスナック菓子のように食べました。



その間また澤山さんはシーカヤック片付けと明日のサッカー交流準備、忙しくやって頂きありがとうございます。

夕飯準備途中、あのテレビ局の放映時間となり選手全員でテレビに囃り付きました。

何人かの選手ははっきりと写っており一生涯の思い出が出来たことでしょう。全員で盛り上がりました。

そして食後お風呂、お風呂は1階2階に2つあり1階は大浴場、2階は家庭的な感じでした。部屋班で分かれて入浴、自由時間を満喫して11時半には私に怒られながら寝ました。

寝なさいと言われてもせっかくの宮崎気持ちはわかりますよね。

明日は7時から桜ウオッチングと言う園内散歩からです。

ここでは、高校生スタッフが公園内を案内してくれました。

フクシマではまだまだ咲かない桜が6分咲きぐらいになっていました。

朝食はおにぎりかカレーライス

にお味噌汁でした。最後まで心にこもったおもてなしご馳走様でした。

お世話になりました。



ここでまたひとつ素晴らしい交流がありました。

スタッフ中には何らかの身障をもった兄弟たちとお母さんが私たちをもてなすお手伝いに来てくれました。

生まれた時に600gしか無かった超未熟児の一卵性兄弟の生い立ちをお母さんが綴った本が出版されています。是非、ご覧ください。

『手のひらの上の小さな戦士』うえきれいこ（著）

選手との関わりはなかなか出来ませんでしたが設楽コーチと私で交流させてもらいある意味のスポーツのちからや繋がり、総合型の持つるポテンシャルを学ぶことが出来ました。

人とスポーツ、切っては切れないものであり本当に可能性は無限です。

交流後打ち解けてお風呂も一緒に入って身体を流してあげました。

本当に楽しい一夜になりました。

いよいよ最終日の移動の朝わざわざ起きて来てくれて挨拶をしてくれました。

想いは伝わるものですね。

いろいろ本当にお世話になり楽しかったです。

またお会いしましょう必ず…

と、お次はチーム本文のサッカー交流です。グラウンド設営して選手、スタッフみんな楽しんでボールを蹴ります。

グラウンドは私達のホーム行健 2
小より比べものにならないくらい
の南国の芝です。

ガールズも半九レインボーガールズ
との合同チームに参加して
戦いました。

5 チーム参加しましたが下の学
年チームにはアーレガールズが
助っ人参加と指導者も主旨を理
解して頂きひとつのボールを追
って楽しい交流会です。

もちろん私達指導者もチームをつくりたくさんボールに触れて大変楽しかった
です。

男子アーレは、ある試合はガチガチの勝負事、ある試合ではフレンドリーマツ
チと大変意義のあるサッカー交流でした。

勝敗としてはアーレ男子はトップを取りましたが 1 度勝ったチームに負ける場
面もありこれぞサッカーと言う試合も体験しました。

ただし今の今まで環境的にも体育館でしか練習していないチームがここまでや
るのか!! □出来てしまうのか!! □と相変わらずのポテンシャルの高さを披露、コ
ンビネーションもある程度合ってしまうと言うアーレサッカーは凄すぎました。
宮崎と遜色ない戦いが出来たこと今回遠征参加選手に取ってきっと大きな地震
になったことでしょう。

ここでもこんな実りある活動が出来ました。



保護者の方々は、どうしてサッカークラブなのに？サッカー交流が少ないの？
何なの？



と疑問に持つことでしょう。
答えは選手を見てください。
選手の笑顔を感じてください。
屈託のない宝物のような笑顔。
サッカーは選手がプレーします。
私達クラブの選手は子供達为中心です。
選手がプレーするから選手の感性や感覚、喜怒哀楽、生きている実感、人として…や仲間を感じる、などが非常に

重要であると考えます。
子供は子供らしく…単純ですが難しい答えです。
けしてサッカーマシンにはなっけてはいけません。
やらされては、管理されてはいけません。
自分で自分をセルフコントロールしなければなりません。
だからセルフコントロールを学ばなければなりません。
ですからサッカー以外の活動が重要なのです。



そこでも楽しさと共に社会性を学び育つのです。
うちはそんな楽しさを創造するクラブです。
かと言ってサッカーをないがしろにしている訳ではありません。
サッカーは躰であります。
磨けばどんな選手も光り出します。
これからも選手の磨きお手伝いさせてください。
結果的には楽しかったと言う一

言につきます。
楽しいからこそその今回のような遠征となります。
おわかり頂けましたか？

哲学的になりましたが一生の思い出が今回も出来たと言う遠征になりました。

最後は、1時間しか取れなくなりましたが前回同様の子供の国です。
前回参加選手もいるので飽き飽きかなと思えばそこは子供らしい選手達、友達と連れ立って遊園地満喫です。そう言えば私も何回行ってもディズニーランドやシーは楽しいと感じます。
ましてや今回も気心知れた仲間同士、場所なんてどうでもいいかもしれません。宮崎に居る事実と気心知れた仲間、それだけでおじいちゃんになっても語りたくなる遠征です。



楽しい時間もあっという間に過ぎ去りまさかの帰る時間となってしまいました。
空港は新しい航路に沸き式典の真っ最中賑わう宮崎を横目に見るのは嬉しくもあり帰りたくない悲しさもあります。

最終日のお見送り行くからそこに合わせてくれるスタッフもいました。

今回も私は涙、涙、涙のお別れとなってしまいました。

人としてこうも愛しく人を感じられる体験が出来たこと生きる喜びを感じます。

今でも眼を閉じれば浮かぶ心からのおもてなしに目頭は熱くなるばかりです。

ファミリーになっているということなのでしょう。





かなりお土産を購入する時間もおしてしまいました。

いくら余裕みてセッティングかけても時間と言うものはなくなります。

何とかあの人込みの中、搭乗しました。午後4時半宮崎空港出発。

眩しいくらいの西陽が私達の帰宅を後押ししてくれました。

この日差しともお別れかと思えば思

うほど日差しは一層強く感じ私達を紅く照らし出してくれました。

行きも帰りも込み込みの機内季節柄もあるのでしょう。

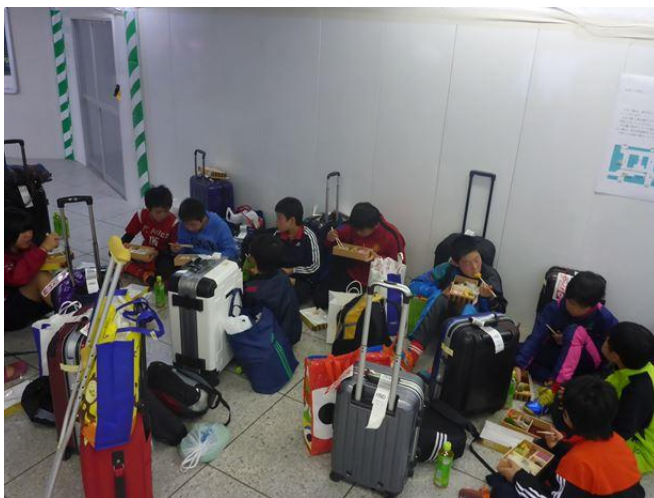
帰りはターミナルに着かずタラップからバス移動でターミナルに入りました。

このバス移動、選手にとっては物凄く新鮮だったようです。

スーツケースを受け取りモノレール、浜松町駅へ。

帰宅は各自お土産を持っておりレインボー澤山さんからもたくさん頂きました。

手荷物が増えはしましたが夜はそれ程込み合いはなく込んでないとは言いませんが転んだり相手にぶつかる選手もいませんでした。





全員で東京駅にて幕の内弁当を買って夕食を食べました。

20時20分東京駅発の指定席に旅の癒しを感じもうすぐ郡山です。

行きは自由席で着席出来ましたが帰りは難しいかもしれません。指定席は致し方ありません。

21時37分郡山駅無事到着。

長いようで短い遠征の全行程が終了しました。

2回の宮崎遠征に参加出来て本当に幸せです。人としてのおもてなしを学びました。

この結び付きはなかなかひとことでは表現出来ません。しかし眼に見えない絆が本当に心に宿りました。

この絆を胸に益々のクラブ発展へとつなげて世界のフクシマから福島に戻りこれからも手に手を取り合って半九レインボースポーツクラブとの交流を続けていけたらと考えています。

半九レインボーのスタッフの皆様本当にありがとうございました。お世話になりました。

また影に日向にセッティングありがとうございました設楽コーチ。

素晴らしい遠征でした。

最後に参加してくれた選手に心からありがとう(^_^)ございます。

たくさん社会勉強出来たね。

行かせてくれたお父さんお母さんに感謝してください。

これは特別なことです。

やがてこの遠征が綺麗な思い出となった時すべてに感謝の気持ちが先に立つことでしょう。

そんな素晴らしい大人になることを期待しています。

それではこの辺りで…

小松 大輔

